

2015年3月23日、シンガポール建国の父リー・クアンユー元首相が逝去され、3月29日に国葬が営まれた。当協会はシンガポール国政府と国民に深甚なる哀悼の意を捧げる。

## 2014年会計年度 事業報告

(2014年4月1日 - 2015年3月31日)

【】内は参加人数

2014年度、当協会は一般社団・財団法人法に基づく「公益目的支出計画の実施完了の確認書」を受領し行政庁の監督を離れた。協会活動については下記の諸事業において前年同様に多様な活動を行った。中でも、ハイライトともなる活動としては、5月にシンガポール・シニア・ゴルファーズ・ソサエティから38名からなるゲストを迎え一大親善ゴルフコンペを開催したこと、既に活動しシンガポールでの定期的な演奏会開催など実績のあったJCTなるコーラス・グループを当協会のコーラス部として改組になったこと、以前からの懸案であった協会のロゴマーク作成について、募集を実施し最優秀作品を決定したこと、翌年度へ最終の姿は持ち越したがホームページの一新に取り組んだこと、などがあった。これらを含む諸活動の土台に据えたのは、事業計画の最大目標とした会員サービス充実と会員増を図ることであった。このうち会員増については、諸活動を通じてのアピールなど会員増に繋がるべく努めたが、芳しい成果を挙げ得なかった。

このほか前年度に引き続き、シンガポール大使館をはじめとする各機関や、日本各地のシンガポール友好団体、更に日本香港協会をはじめとする諸団体との交流に努めた。

### 1、調査研究事業

2014年版「シンガポール共和国の概況」について、前年度同様会員サービスの一環として全員に配布した。今後も年1回ペースで改訂版の発行を予定する。

### 2、親善交流事業

会員相互の親睦、シンガポール及びその他アジアの人達との交流を図るため下記を開催した。

- 1) 「シンガポール・シニア・ゴルファーズ・ソサエティとの親善ゴルフ」(2014/05/14)【65名】
- 2) 「アフタヌーン・ティ・サロン」(2014/05/29)【109名】
- 3) 「シンガポール日本人学校OB&OG同窓会」(2014/06/08)【117名】【コーラス部の演奏あり】  
(在日シンガポール首席公使を招く)
- 4) 「懇親ゴルフ会」【2014/10/01:45名】、【2015/03/04:42名】  
(共に大使館側からも参加いただいた)
- 5) 「The Get Together (ゲット・トゥゲザー)」(2014/11/12)【67名】
- 6) 「初笑い落語と懇親の集い」(2015/02/03)【62名】
- 7) 「関西シンガポール同窓会」(2014/08/08【24名】)、(2015/02/06【22名】)
- 8) 「日本香港協会との懇親会」(2014/08/04)

### 3、セミナー・講演事業

下記講演会を開催した。

- 1) 「東アジアの海洋領有権問題 ～尖閣を中心として～」小島高明大使  
(2014/05/17 第44回定例総会：住友化学(株)参官寮)【50名】
- 2) 「最近のシンガポール情勢」前日本人会事務局長 杉野一夫氏 (2014/04/04)【40名】
- 3) その他講師派遣・講演依頼に対応した(略)

### 4、出版事業

前年度に引き続き「シンガポール企業経営ガイド」、「シンガポール会社法Q&A」、「シンガポールの華人社会」、「シンガポールPAP政権」、「ハローシンガポール」等の書籍を販売した。

### 5、広報事業

- 1) 季刊誌「シンガポール」を4回発行し、月2回シンガポール情報をメールにて配信した。
- 2) ホームページの一新を図るべく努めた。結果は翌年度に持ち越しとなった。
- 3) 公共性・公益性の高いイベントについて、依頼により「後援」を行った。

以上

## 2015 年会計年度 事業計画

(2015 年 4 月 1 日 - 2016 年 3 月 31 日)

本年度はシンガポール建国 50 周年、来年は国交樹立 50 周年に当たることから、これを記念する講演会を含むイベントを諸機関との連携も視野に入れて企画する。引き続き会員サービスの充実を図る。会員増は本年度も最重点項目であるが、過年度の結果への反省を踏まえ、通年でこれまでにない大胆な企画に取り組みたい。具体的には、ホームページの一新等の支援をもとに、会員一人に新会員一人を獲得するキャンペーンを展開したく、広く会員の皆様のご協力を仰ぎたい。会員増によって本来の財政貢献策とすべく取り組む。

諸事業における活動、イベントは前年同様の開催を予定し、また、シンガポールとの諸分野における交流を一層深化すべく、駐日シンガポール大使館をはじめとする内外の各機関との連携を継続、強化するよう努める。

本年度は下記の事業を計画し実行する。

### 1、会員増強活動の継続・強化

会員にとってより魅力ある活動の提供、会員サービスの充実、このためのホームページの刷新等を支援材料として、「会員一人に新会員一人」というキャンペーンを展開し、新規会員の増強に努める。

### 2、各種事業活動の推進

#### 2-1、調査研究事業

「シンガポール共和国の概況」の編集・発行を継続する。過年度に引き続き、今年度も会員全員に配布を計画する。進出予定企業等からなど個別の問い合わせに関しては、シンガポール現地の関係機関とも連絡確認を密に取りながら対応する。

#### 2-2、親善交流事業

会員相互間の交流が図れる場として、アフターヌーンティー・サロン、アニュアル・ゲット・トゥゲザー等の開催を昨年度同様に企画する。また、懇親ゴルフ会、シンガポール日本人学校 OB&OG 懇親会、落語会等を引き続き開催する。昨年度来日があったシンガポールの団体 (SSGS-Singapore Senior Golfers Association) の今年度来日があれば、受入れのための準備を行う。日本香港協会等他地域の協会とのイベントの相互参加を通じて、ASEAN から APEC に及ぶ情報の交換の機会を拡充すると共に、日本各地におけるシンガポール協会等、友好親善団体との交流を引き続き図るべく努める。

#### 2-3、セミナー講演会事業

シンガポール、アセアン及びこれらを取り巻く環境、情勢について、会員のために有効・有益な講演会を企画し実施する。本年度は、建国 50 周年、翌年度の国交樹立 50 周年を記念する講演会の開催を企画する。また、青少年層の国際化支援のため、大学や高校へ引き続き積極的に講師の派遣やインターンシップの斡旋等に務める。

#### 2-4、出版事業

シンガポールに関する研究をはじめ、シンガポール進出に関し、地方自治体や中堅企業のニーズに対応して、シンガポール及び周辺の歴史や、会社設立・経営・税務に係る書籍等の提供と情報サービスを展開する。

#### 2-5、広報事業

引き続き、季刊誌「シンガポール」及び高い評価を得ているシンガポール情報のメールによる定期配信を継続する。特に季刊誌「シンガポール」の内容を継続して質的に充実させることが、会員サービスの核であることを認識して取り組む。特に今年度はホームページを刷新し、会員サービスの充実を図ると共に新規会員の獲得に資するよう努める、また、シンガポール日本人会、シンガポール日本人商工会議所、日本におけるシンガポール政府関連の出先機関との連携を深め、内外において友好関係増進のための広報活動をより積極的に行う。

以上